



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2022.4.18

校訓「学び 鍛え ともに育つ」

令和4年度が始まって1週間が過ぎました。児童生徒は、新しい出会いにわくわくしながら、張り切ってスタートしています。

先日の全校朝会で、次のような話しをしました。



学校の玄関のこの部分に掲げられているものは何か知っていますか。校訓「学び 鍛え ともに育つ」です。校訓というのは、学校の目標、あるいは大切にしたいものというような意味です。では何を大切にしたいのでしょうか。「学び」は「学ぶ」ですね。勉強するという意味ですが、何を勉強するのでしょうか。もちろん授業で習う勉強や運動もそうです。しかし、学校で学ぶことはそれだけではありません。あいさつをはじめとする礼儀であったり、人や物への思いやりであったり、友達と協力して何かを作り上げたりする経験であったり、授業以外の部分もたくさんあります。

「鍛え」は、練習するというような意味でしょうか。計算や漢字も、習っただけではなかなかできるようになりません。ドリルで何回も計算の練習をしたり、漢字を書いて覚えたり繰り返すことで、自分の力となっていきますね。時には苦しいこともあるでしょう。

「ともに育つ」。「ともに」は「いっしょに」、「育つ」は「伸びる」ということですね。「ともに」は誰と一緒にでしょうか。この話は、これまでに何度かしてきました。私と友達。私と先生。私とおうちの人。私と地域の人。先生と先生。先生とおうちの人。等々。それぞれが共に伸びていく、お互いに高め合って、励まし合って、一緒に伸びていく事が大事です。校訓「学び 鍛え ともに育つ」にはそのような願いが込められています。この校訓の精神を大切に、一緒によりすばらしい新宮小・中学校にしていきたいと思います。

感染症対策を引き続きお願いいたします

愛媛県では新型コロナウイルス感染症の1日の陽性確認者が400名を超える日が2日続くなど、やや高止まりの傾向にあります。本校でも影響が出ており、感染症がより近いものになったと実感しています。今の状況は、感染は特別なことではなく、誰もが感染する可能性があり、身近にウイルスがあるという前提で生活していく事が必要であると感じています。これまで行ってきた対策を地道に続けていく事が大切であると思います。

一方、4月1日より国の方針により保健所の対応にも変化がありました。これまでの知見から、適切に感染症対策を行ってれば感染リスクは少なく、濃厚接触者として認定されるなどの行動制限がこれまでよりも課されにくくなっているようです。そのため、無条件で学級閉鎖や臨時休校ということもなくなってきました。もちろん、クラスターなどが発生した場合はその限りではありません。そのためにも、お子様が少しでも風邪症状などがある場合は、躊躇せず学校を休ませて様子を見たり、病院を受診して確かな診断をしていただいたりなどしていただきますようご協力をお願いいたします。引き続き、ご家庭での感染症対策の継続をお願いいたします。